



2024年11月11日

各 位

会 社 名 ディーエムソリューションズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 花矢 卓司
(コード番号: 6549 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員管理部長 吉田 慎一郎
(TEL 0422-57-3921)

2025年3月期第2四半期(中間期)
連結業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期第2四半期(中間期)の業績予想数値と、本日公表の実績数値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績予想と実績との差異
(2024年4月1日~2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間 純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,313	百万円 251	百万円 252	百万円 164	円 銭 58.95
当期実績 (B)	10,010	307	305	203	72.77
増減額 (B-A)	697	55	53	38	
増減率 (%)	7.5	22.3	21.0	23.8	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期第2四半期)	9,024	284	290	192	69.53

(差異の理由)

当第2四半期(中間期)につきましては、ダイレクトメール事業におけるDM発送代行サービスにおいて、新規顧客の開拓及び既存顧客からの受注双方が堅調であったことに加え、クロネコDM便の廃止に伴うゆうメールへの切替需要を確実に取り込み、期初の想定を上回る受注水準で推移しました。

加えて、注力しているEC支援領域の主力サービスであるフルフィルメントサービス(※)においても、拡大を続けるEC通販市場を背景に、2024年6月の国立フルフィルメントセンターの開設、当社インターネット事業と連携したオウンドメディアの展開やSNS運用などの積極的なマーケティング施策が奏功し、新規顧客の獲得が期初の想定を大きく上回る水準で推移しました。

これらにより、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれにおいても、前回発表予想(2024年5月14日発表)を上回りました。

(※) EC事業者のECサイトの受注データ及び在庫データと連携し、商品保管や在庫管理、商品注文時の梱包作業や宅配便での商品発送をワンストップで行うサービス。

以 上